

職業(大分類)及産業上の地位に依り分ちたる本業者

職業	總數	雇主	單獨	使用人	各人口千中			
					總數	雇主	單獨	使用人
總數	32 631	6 931	3 323	22 377	1 000.0	1 000.0	1 000.0	1 000.0
1 農 業	22 902	5 851	1 026	16 025	701.8	844.2	308.8	716.1
2 水 産 業	2 840	515	1 393	932	87.0	74.3	419.2	41.7
3 鑛 業	5	1	3	1	0.2	0.1	0.9	0.0
4 工 業	1 303	159	264	880	39.9	23.0	79.4	39.3
5 商 業	1 490	348	440	702	45.7	50.2	132.4	31.4
6 交 通 業	917	48	74	795	28.1	6.9	22.3	35.5
7 公務、自由業	2 491	9	121	2 361	76.3	1.3	36.4	105.5
8 家事使用人	198	198	6.1	8.9
9 其の他の有業者	485	...	2	483	14.9	...	0.6	21.6

註 單獨とは人に雇はれず、雇人をも使用せず、家族の補助をも受けずして、一人にて自己の業務を営むものをいふ。

2 無業 無業者は27,493人にして總人口の四割五分七厘あり。内男12,436人即ち男人口の四割三分二厘、女15,057人即ち女人口の四割八分にして、無業者總數の男は45.2%なるに對し、女は54.8%の多數を以て男を超過せり。而して女100人に付男は82.6人に當る。

無業者の年齢を検するに、14歳以下21,295人は總數の77.5%を占め、15—59歳3,516人即ち12.7%、60歳以上2,682人即ち9.8%なり。之を男女毎に觀るに、男は其の91.2%(11,337人)の大部分が14歳以下の幼年級なるに對し、女は66.2%(9,958人)なるを以て、男に比し女は稍々低率なり。然るに15—59歳の生産年齢級に在りては、男は4.5%(560人)なるに對し、女は19.6%(2,956人)の大多數を以て男を凌駕し、60歳以上の老年級に在りても亦男4.3%(539人)に對し、女は14.2%(2,143人)の高率を以て男を超過せり。

無業者は前述の如く幼年級のもの大多數を占むるを以て、其の配偶状態も亦未婚最も多く80.2%(22,046)を算し、之に次ぐは有配偶の10.4%(2,861)、死別の9.2%(2,536)、離別の0.2%(50)の順位なり。

配偶關係に依り分ちたる無業者

配偶關係	總數	男	女	女百に付男	配偶關係別百分比例		
					總數	男	女
總數	27 493	12 436	15 057	82.6	100.0	100.0	100.0
未 婚	22 046	11 708	10 338	113.3	80.2	94.2	68.6
有 配 偶	2 861	428	2 433	17.6	10.4	3.4	16.2
死 別	2 536	277	2 259	12.3	9.2	2.2	15.0
離 別	50	23	27	85.2	0.2	0.2	0.2

無業者27,493人を職業小分類に依り分てば、從屬者最も多く22,510人即ち無業者總數の81.9%を占め、學生生徒3,532人即ち12.8%之に次ぎ、其の他の無業者又は職業の申告なき者1,318人即ち4.8%第三位にあり、他の各業に在る者は之を合算するも0.5%に過ぎざる少數なり。更に之を男女別に觀るも亦概ね同一傾向を示す。而して恩給年金等の収入に依る者、地代家賃有價證券其の他の収入に依る者、學生生徒の割合は男を多數とするも、他の各業に於ける割合は孰れも女を多數とす。但精神病院感化院慈善病院等に在る者及在監人には男女とも全くなく、恩給年金等の収入に依る者は女全くなし。

職業(小分類)に依り分ちたる無業者

職業	總數	男	女	女百に付男	各人口千中		
					總數	男	女
總數	27 493	12 436	15 057	82.6	1 000.0	1 000.0	1 000.0
368 恩給、年金等の収入に依る者	1	1	0.0	0.1	...
369 小作料に依る者	33	14	19	73.7	1.2	1.1	1.3
370 地代、家賃、有價證券、其の他の収入に依る者	21	11	10	110.0	0.8	0.9	0.7
371 學 生、 生 徒	3 532	2 986	546	546.9	128.5	240.1	36.3
372 從 屬 者	22 510	8 858	13 652	64.9	818.8	712.3	906.6
373 精神病院、感化院、慈善病院等に在る者
374 官公又は慈善團體等の救助を受ける者	78	30	48	62.5	2.8	2.4	3.2
375 在 監 人
376 其の他の無業者又は職業の申告なき者	1 318	536	782	68.5	47.9	43.1	51.9

3 副業 總人口60,124人中副業を有する者14,422人あり、人口の239.9%に當る。うち其の九割三分即ち13,454は本業ある者の第二の職業にして、爾餘の968は本業なき者の内職なり。而して前者は本業者總數の412.3%に當り、後者は無業者總數の35.2%に當るを以て、本業ある者の副業率は本業なき者の副業率に比し甚だ高率なり。次に男女各別に之を觀察するに、副業を有する男は人口の198.5%なるに對し、同女は人口の277.8%なるを以て女の副業率高く、次に本業ある者の副業率に在りては男344.1%なるに對し、女は480.7%にして、又本業なき者の副業率に在りては男7.2%なるに對し、女は58.3%の如くにして女の副業率は男のそれに比し孰れも高率なり。

本業の有無に依り分ちたる副業者

本業の有無	總數	男	女	女百に付男	各人口千に付		
					總數	男	女
總數	14 422	5 713	8 709	65.6	239.9	198.5	277.8
本業ある副業者	13 454	5 623	7 831	71.8	412.3	344.1	480.7
本業なき副業者	968	90	878	10.3	35.2	7.2	58.3

本業ある副業者 13,454 人を其の本業に依り分てば、其の大多數は農業を本業とする者にして 86.1% を占め、水産業を本業とする者 7.2% は多くの懸隔を以て之に次ぎ、以下商業 2.0%、工業及交通業各 1.8%、公務自由業 0.6%、其の他の有業者 0.4%、家事使用人 0.1%、鑛業(2) 0.0% の順位にして、各本業者總數に對する割合より見るときは、農業を本業とする者の副業率は依然第一位にあるも、第二位は鑛業にして、以下水産業、交通業、工業、商業、其の他の有業者、家事使用人、公務自由業の順序なり。而して男に比し女の副業率高きものは工業、其の他の有業者、公務自由業にして、鑛業、交通業、家事使用人には女全くなし。

表側の職業を本業とする副業者

職業(本業)	總數	男	女	女百に付男	各本業者千に付		
					總數	男	女
總數	13 454	5 623	7 831	71.8	412.3	344.1	480.7
1 農 業	11 589	3 889	7 700	50.5	506.0	509.8	504.1
2 水 産 業	974	932	42	2 219.0	343.0	347.9	260.9
3 鑛 業	2	2	400.0	400.0	...
4 工 業	244	219	25	876.0	187.3	180.1	287.4
5 商 業	263	218	45	484.4	176.5	207.8	102.0
6 交 通 業	237	237	258.5	261.3	...
7 公務、自由業	78	73	5	1 460.0	31.3	30.1	75.8
8 家事使用人	7	7	35.4	148.9	...
9 其の他の有業者	60	46	14	328.6	123.7	119.5	140.0

副業を職業大分類別に觀察するとき、農業最も多く 83.8% を占め、水産業の 9.5% 之に次ぐ。此の兩者は澎湖廳に於ける副業中主要なるものにして、以下工業 2.8%、商業 1.7%、其の他の有業者 1.2%、交通業 0.5%、公務自由業 0.4%、鑛業 0.1% とし、家事使用人を副業とする者なし。

之を男女別に見るに、男女とも其の最多は農業にして、水産業之に次ぎ以上の兩者を以て男は副業總數の八割五分、女は副業總數の九割九分を占め、他の副業は甚だ僅少なり。而して農業を副業とする者は女の割合多く、他

の各業は孰れも男の割合多し(但女は鑛業を副業とする者全くなし)。

職業(大分類)に依り分ちたる副業者

職業(副業)	總數	男	女	女百に付男	各人口千中		
					總數	男	女
總數	14 422	5 713	8 709	65.6	1 000.0	1 000.0	1 000.0
1 農 業	12 088	3 899	8 189	47.6	838.1	682.5	940.3
2 水 産 業	1 378	938	440	213.2	95.5	164.2	50.5
3 鑛 業	17	17	1.2	3.0	...
4 工 業	405	380	25	1 520.0	28.1	66.5	2.9
5 商 業	238	208	30	693.3	16.5	36.4	3.5
6 交 通 業	76	75	1	7 500.0	5.3	13.1	0.1
7 公務、自由業	53	51	2	2 550.0	3.7	8.9	0.2
8 家事使用人
9 其の他の有業者	167	145	22	659.1	11.6	25.4	2.5

更に副業を職業小分類別とし、其の主なるもののみを挙げれば、最多は畜産手助の 5,569 にして副業總數の 38.6% を占め、次で養畜業主 5,237(36.3%)、漁業主 1,079(7.5%)、農耕業主 1,023(7.1%)、漁業手助 292(2.0%)、農業手助 217(1.5%)、日傭(と單に申告したる者) 152(1.1%)、物品販賣業主 149(1.0%) 等にして、他の各業は孰れも總數の百分の一以下にあり。

4 職業數 前述の如く本業者 32,631 人、無業者 27,493 人あり。然るに本業者中には、本業の外に尙第二の職業たる副業を有する者あり、又無業者中には、片手間に營む内職を有する者あり。而して之等の副業と本業とは、自ら輕重の差ありと雖も、而も生産機構の一部を成すに異なる所なし。以て本項に於ては之等を總括したる職業數に就き觀察せんとす。即ち本業 32,631 と副業 14,422 を合算したる 47,053 は所謂職業數にして、其の實際従業人員は 33,599 人あり、人口の五割五分九厘に當る。うち本業のみに従事する者 19,177 人にして従業人員の 57.1% を占め、又一人にて本業たる第一位の職業と副業たる第二位の職業の兩者に従事する者 13,454 人(40.0%) あり、又本業なく副業(内職)にのみ従事する者 968 人(2.9%) なり。

次に職業數 47,053 を職業大分類に依り分てば、農業は其の數最も多く 74.4% を占め、以下水産業 9.0%、公務自由業 5.4%、商業 3.7%、工業 3.6%、交通業 2.1%、其の他の有業者 1.4%、家事使用人 0.4%、鑛業 0.0% (22) の順序なり。

更に之を職業小分類別に總數の百分の一以上のものを挙げれば、即ち次の如くにして、之を本業の場合に比すれば、第三位に畜産手助を又第四位に養畜業主を加へたるは、畜産手助及養畜業主は本業に於ては總數の百分の一に達せざりしも、副業に於ては畜産手助首位に在り、養畜業主之に次ぐの大多數なるを以てなり。又作男作女の物品販賣業主の下位に降りたるは、副業に於ける作男作女は其の數甚だ少なきがためにして、又陸軍現役下士官兵は本業に於ては第九位に在りたるも、該副業全くなく職業數の百分の一に達せず。

職業(小分類)に依り分ちたる職業數 (百分の一以上)

職業	職業數	職業別百分比例	職業	職業數	職業別百分比例
5 農業手助	15 575	33.1	327 海軍現役下士官、兵	1 258	2.7
1 農耕業主	7 881	16.7	28 漁業手助	986	2.1
12 畜産手助	5 577	11.9	263 物品販賣業主	737	1.6
8 養畜業主	5 256	11.2	3 作男、作女	597	1.3
25 漁業主	2 986	6.3	305 舵夫、水夫	484	1.0

註 職業分類に就ては卷末附録「職業分類」参照すべし。

産業

本調査に於ては、本業の所屬する産業に就てのみ之を調査せり。而して本項に於て單に産業と稱するは、産業大分類 1 乃至 9 を指稱するものにして、又有業者と稱するは之に所屬する者なり。今本業 32,631 を其の所屬する産業の種類に依り區別するときは、農業に所屬するもの最も多く 22,958 即ち總數の 70.3% を占め、以下水産業 8.9%、公務自由業 8.7%、商業 5.1%、工業 3.9%、交通業 2.3%、家事 0.6%、其の他の産業 0.2%、鑛業 0.0% の順位とす。男女別に之を觀れば、男女とも其の最多は農業にして、男に在りては其の 46.8% を占め、女に在りては其の 94.0% に當る。以下男に於ては公務自由業、水産業、商業、工業、交通業、家事、其の他の産業、鑛業の順位にして、又女に於ては農業に次で商業、水産業、家事、工業、公務自由業、其の他の産業、交通業の順序にして鑛業に所屬する者全くなし。而して總數の場合に比し女の割合多きものは、農業と家事にして他の各業に在りては孰れも男の割合多し。次に各業に於ける男女の權衡は、家事の女 100 人に對する男 31.8 人及農業の同割合 49.9 人は女の超過なるも、他の各業に於ては孰れも男の超過にして、就中交通業、公

務自由業、水産業、工業等に在りては著しき男の超過を見る。

産業(大分類)に依り分ちたる有業者

産業	總數	男	女	女百に付男	各人口十中		
					總數	男	女
總數	32 631	16 341	16 290	100.3	1 000.0	1 000.0	1 000.0
1 農業	22 958	7 643	15 315	49.9	703.5	467.7	940.1
2 水産業	2 895	2 734	161	1 698.1	88.7	167.3	9.9
3 鑛業	5	5	0.2	0.3	...
4 工業	1 272	1 181	91	1 297.8	39.0	72.3	5.6
5 商業	1 661	1 201	460	261.1	50.9	73.5	28.2
6 交通業	749	746	3	24 866.7	22.9	45.7	0.2
7 公務、自由業	2 841	2 753	88	3 128.4	87.1	168.5	5.4
8 家事	199	48	151	31.8	6.1	2.9	9.3
9 其の他の産業	51	30	21	142.9	1.6	1.8	1.3

廳下に於ける産業の分布状態を検するに、交通業を除く他の各業は孰れも馬公支廳に於て其の大部分を占む。即ち農業に在りては馬公支廳に於て其の八割一分七厘を占め、望安支廳は一割八分三厘にして水面に 4 あり。水産業に在りては馬公支廳に於て其の六割五分九厘を占め、望安支廳は三割三分二厘にして水面に九厘あり。鑛業に在りては其の全部が馬公支廳のみなり。工業に在りては馬公支廳に於て其の九割一分七厘を占め、望安支廳は八分にして水面に三厘あり。商業に在りては馬公支廳に於て其の九割三分九厘を占め、望安支廳は五分二厘にして水面に九厘あり。交通業に在りては馬公支廳に於て其の三割六分二厘なるも、望安支廳は五割三分三厘の多數を占め、水面に一割五厘あり。公務自由業に在りては馬公支廳に於て其の六割四分九厘を占め、望安支廳は二分八厘にして水面に三割二分三厘あり。家事に在りては馬公支廳に於て其の九割八分五厘を占め、望安支廳は一分五厘とす。其の他の産業に在りては馬公支廳に於て其の八割四分三厘を占め、望安支廳は一割五分七厘とす。之を要するに廳下に於ける産業の 78.9% は馬公支廳にあり、望安支廳に於ては 17.9% にして水面に於ける 3.2% を最少とす。

産業(大分類)に依り分ちたる支應別有業者の割合

支應	支應別百分比例									
	總數	1 農業	2 水産業	3 鑛業	4 工業	5 商業	6 交通業	7 公務、自由業	8 家事	9 其の他の産業
總數	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
馬公支應	78.9	81.7	65.9	100.0	91.7	93.9	36.2	64.9	98.5	84.3
望安支應	17.9	18.3	33.2	...	8.0	5.2	53.3	2.8	1.5	15.7
水面	3.2	0.0	0.9	...	0.3	0.9	10.5	32.3

以上は總數に對する各支應の割合にして、人口多き地方に産業も亦多く、人口寡き地方に産業も亦比較的少なかるべきは勿論なり。然るに水面は之を措き、今兩支應に於ける産業總數を各其の人口の多寡に對比せしむれば、即ち1,000人に對する比率は馬公支應526.4、望安支應575.2にして、人口に於ては著しき優勢を示せる馬公支應の産業率は却つて望安支應に及ばざるの奇現象を見る。以上に依つて考ふるに、人口多き地方に比較的産業の數多きも、産業率の高低は人口の多寡を以て直ちに論斷し得ざるなり。

産業大分類別有業者の年齢を検するに、農業に在りては14歳以下の幼年級7.9%あり、15—19歳に於て16.4%に激増して最高率を示せるも、爾餘は35—39歳及40—44歳に例外ある外年齢級の上昇に伴ひて漸減し、55—59歳の5.3%に至り、60歳以上6.9%あり。水産業に在りては14歳以下の幼年級1.6%あり、15—19歳に於ては13.9%、20—24歳に於ては14.6%に増加し、25—29歳に於ては更に15.2%に上昇して最高率を示し、爾後は45—49歳に例外ある外年齢級の進むに従つて漸減し60歳以上の3.3%に至る。鑛業に在りては15—19歳20.0%(1人)、45—49歳及50—54歳は孰れも40.0%(2人)のみにして他の各年齢級には全くなし。工業に在りては14歳以下の幼年級2.0%あり、15—19歳に於ては14.4%に増加し、20—24歳に於ては更に16.7%に上昇して最高率を示し、爾後は年齢級の進むに従つて漸次低下し60歳以上の3.3%に至る。商業に在りては14歳以下の幼年級5.0%あり、15—19歳に於ては19.7%に激増して最高率を示すも、爾餘は40—44歳に例外を見るの外漸次減少して55—59歳の5.3%に至り、60歳以上7.7%あり。交通業に在りては14歳以下の幼年級0.7%あり、15—19歳に於ては10.5%に増加し、20—24歳に於ては更に15.0%に上昇して最高率を示すも、爾後は高低不規則にして60歳以上の3.5%に至る。公務自由

業に在りては14歳以下の幼年級1.4%あり、15—19歳に於ては8.9%に増加し、20—24歳に於ては一躍44.7%に昇騰して最高率を示すも、以後は50—54歳に例外を見るの外漸次減少して55—59歳の1.7%に至り、60歳以上2.6%あり。家事に在りては14歳以下の幼年級11.6%あり、15—19歳に於ては25.1%に昇騰して最高率を示し、爾餘は一上一下甚だ不定型にして60歳以上の4.5%に至る。其の他の産業に在りては14歳以下の幼年級2.0%あり、15—19歳及20—24歳に於て各21.6%に昇騰して最高率を示し、爾餘は高低稍々不規則にして60歳以上3.9%に至る。

次に男女別に各業に於ける最高率を見るに、農業に在りては男女とも15—19歳、水産業に在りては男は25—29歳、女は15—19歳、鑛業には女全くなし、工業に在りては男は20—24歳、女は30—34歳、商業に在りては男女とも15—19歳、交通業に在りては男は20—24歳、女は15—19歳乃至25—29歳に各1あるのみ、公務自由業に在りては男は20—24歳、女は15—19歳、家事に在りては男女とも15—19歳、其の他の産業に在りては男は20—24歳、女は15—19歳とす。

産業(大分類)及年齢(十一區分)に依り分ちたる有業者の割合

年齢	年齢級別百分比例									
	總數	1 農業	2 水産業	3 鑛業	4 工業	5 商業	6 交通業	7 公務、自由業	8 家事	9 其の他の産業
總數	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0—14	6.2	7.9	1.6	...	2.0	5.0	0.7	1.4	11.6	2.0
15—19	15.6	16.4	13.9	20.0	14.4	19.7	10.5	8.9	25.1	21.6
20—24	15.5	12.2	14.6	...	16.7	11.4	15.0	44.7	10.6	21.6
25—29	11.6	10.4	15.2	...	14.1	9.9	12.1	17.3	13.6	7.8
30—34	9.6	9.2	11.2	...	14.0	9.5	12.8	8.8	8.5	11.8
35—39	8.0	8.0	9.5	...	11.0	8.0	9.6	5.1	6.0	3.9
40—44	8.2	8.2	9.4	...	10.0	9.3	10.3	4.4	9.1	13.6
45—49	8.2	8.6	9.7	40.0	7.1	7.9	12.6	3.6	3.5	5.9
50—54	6.3	6.9	6.7	40.0	4.0	6.3	8.1	1.5	4.0	5.9
55—59	4.8	5.3	4.9	...	3.4	5.3	4.8	1.7	3.5	2.0
60以上	6.0	6.9	3.3	...	3.3	7.7	3.5	2.6	4.5	3.9

産業大分類別有業者の配偶状態は未婚9,452(29.0%)、有配偶20,206(61.9%)、死別2,710(8.3%)、離別263(0.8%)にして、其の所屬せる各業別に之を觀察するに、

總數の場合に比し未婚の割合少なきものは農業に於ける其の 26.4%、工業に於ける其の 26.0%、水産業に於ける其の 22.3%、交通業に於ける其の 19.5%にして他の各業は公務自由業の 58.1%乃至商業の 31.2%の間にあり孰れも總數の場合に比し高率なり。又有配偶の割合少なきものは商業に於ける其の 60.8%、其の他の産業に於ける其の 52.9%、鑛業に於ける其の 40.0%、家事に於ける其の 39.7%、公務自由業に於ける其の 39.3%にして他の各業は交通業の 74.8%乃至農業の 62.9%の間にあり孰れも總數の場合に比し高率なり。死別の割合少なきものは商業に於ける其の 6.7%、水産業に於ける其の 4.6%、交通業に於ける其の 4.0%、工業に於ける其の 3.4%、公務自由業に於ける其の 2.1%にして、他の各業は鑛業の 20.0%乃至其の他の産業の 9.8%の間にあり孰れも總數の場合に比し高率なり。離別の割合少なきものは農業に於ける其の 0.7%、工業に於ける其の 0.6%、公務自由業に於ける其の 0.5%にして、他の各業(鑛業及其の他の産業全くなし)は家事の 3.5%乃至商業の 1.3%の間にあり孰れも總數の場合に比し高率なり。

産業(大分類)及配偶關係に依り分ちたる有業者

産業	總數	未婚	有配偶	死別	離別	配偶關係別百分比例				
						總數	未婚	有配偶	死別	離別
總數	32 631	9 452	20 206	2 710	263	100.0	29.0	61.9	8.3	0.8
1 農業	22 958	6 058	14 448	2 295	157	100.0	26.4	62.9	10.0	0.7
2 水産業	2 895	646	2 073	132	44	100.0	22.3	71.6	4.6	1.5
3 鑛業	5	2	2	1	...	100.0	40.0	40.0	20.0	...
4 工業	1 272	331	891	43	7	100.0	26.0	70.0	3.4	0.6
5 商業	1 661	519	1 010	111	21	100.0	31.2	60.8	6.7	1.3
6 交通業	749	146	560	30	13	100.0	19.5	74.8	4.0	1.7
7 公務、自由業	2 841	1 651	1 116	60	14	100.0	58.1	39.3	2.1	0.5
8 家事	199	80	79	33	7	100.0	40.2	39.7	16.6	3.5
9 其の他の産業	51	19	27	5	...	100.0	37.3	52.9	9.8	...

産業大分類別有業者の職業を検するに、農業 22,958 中農業を職業とする者 99.7%を占め、以下其の他の有業者 63人、交通業 2人にして他の職業の者なし。水産業 2,895 中水産業を職業とする者 98.0%を占め、以下交通業 54人、其の他の有業者 2人にして他の職業の者なし。鑛業 5は總て鑛業を職業

とする者なり。工業 1,272 中工業を職業とする者 90.9%を占め、次で其の他の有業者 5.7%、公務自由業 2.2%、交通業 1.0%、商業 0.2%にして、他の職業の者なし。商業 1,661 中商業を職業とする者 88.9%を占め、次で工業 4.0%、其の他の有業者 3.5%、公務自由業 2.3%、交通業 1.3%にして、他の職業の者なし。交通業 749 中交通業を職業とする者 90.9%を占め、次で其の他の有業者 4.4%、工業 2.7%、公務自由業 1.6%、商業 0.4%にして、他の職業の者なし。公務自由業 2,841 中公務自由業を職業とする者 84.9%を占め、次で其の他の有業者 7.3%、交通業 5.1%、工業 2.1%、農業及商業 0.3%、水産業 0.0%(1)にして、他の職業の者なし。家事 199 中共の他の有業者 1あり他は悉く家事使用人のみなり。其の他の産業 51 中工業 2あり他は總て其の他の有業者なり。

有業者を更に産業小分類に分ち、其の主なるものを挙げれば、農作—自作 (22,060)は其の數最も多く、總數の 67.6%に當り、以下漁撈採藻 (2,895) 8.9%、海軍 (他に分類せられざる) (1,512) 4.6%、農作—自作兼小作 (768) 2.4%、船舶運輸業 (624) 1.9%、陸軍 (他に分類せられざる) (462) 1.4%、各種物品販賣 (376) 1.2%の如くにして、他の各業に在りては孰れも總數の百分の一以下とす。

産業(小分類)に依り分ちたる有業者 (百分の一以上)

産業	實數	割合 %	産業	實數	割合 %
1 農作—自作	22 060	67.6	238 船舶運輸業	624	1.9
15 漁撈、採藻	2 895	8.9	249 陸軍 (他に分類せられざる)	462	1.4
250 海軍 (他に分類せられざる)	1 512	4.6	210 各種物品販賣	376	1.2
3 農作—自作兼小作	768	2.4			

産業上の地位に就ては職業の部に於て記したるが如く、雇主 6,931 (21.2%)、單獨 3,323 (10.2%)、使用人 22,377 (68.6%)にして、之を産業大分類別に觀察するも亦水産業と鑛業を除く他の各業は孰れも使用人最も多數を占む。今其の割合の多き順序に挙げれば家事、其の他の産業、公務自由業、交通業、農業、工業、商業にして家事は其の全部、其の他の各業は其の 96.1%乃至 52.6%とす。而して農業に在りては使用人に次ぎ雇主の割合第二位にあり、單獨の割合は第三位なるも、他の各業に在りては孰れも單獨の割合第二位にあり、雇主の割合は第三位なり。因に水産業及鑛業に於ける最多は孰れも單獨にして、水産業に在りては使用人、雇主相次ぎ、鑛業に在りては雇主と使用人は同數なり。

産業(大分類)及産業上の地位に依り分ちたる有業者

産 業	總數	雇主	單獨	使用人	産業上の地位別百分比例			
					總數	雇主	單獨	使用人
總 數	32 631	6 931	3 323	22 377	100.0	21.2	10.2	68.6
1 農 業	22 958	5 851	1 026	16 081	100.0	25.5	4.5	70.0
2 水 産 業	2 895	517	1 394	984	100.0	17.9	48.1	34.0
3 鑛 業	5	1	3	1	100.0	20.0	60.0	20.0
4 工 業	1 272	159	264	849	100.0	12.5	20.8	66.7
5 商 業	1 661	349	439	873	100.0	21.0	26.4	52.6
6 交 通 業	749	45	74	630	100.0	6.0	9.9	84.1
7 公務、自由業	2 841	9	121	2 711	100.0	0.3	4.3	95.4
8 家 事	199	199	100.0	100.0
9 其の他の産業	51	...	2	49	100.0	...	3.9	96.1

註 産業分類に就ては巻末附録「産業分類」参照すべし。

失業

失業者は總數90人あり、人口1,000人に付1.5人に當る。而して其の大部分は男にして71人即ち78.9%を占め、女は僅かに19人即ち21.1%に過ぎず。次に支應別に之を觀れば、望安支應に於ける1人を除く他は悉く馬公支應に於ける失業者なり。而して之を各支應別人口の多寡に對比せしむれば、即ち人口1,000人に對し馬公支應に在りては1.8人、望安支應に在りては0.1人とす。

支應に依り分ちたる失業者

支 應	總數	男	女	女百に 付男	各人口千に付		
					總數	男	女
總 數	90	71	19	373.7	1.5	2.5	0.6
馬公支應	89	70	19	368.4	1.8	3.0	0.7
望安支應	1	1	0.1	0.2	...
水 面

失業者を本籍、民籍又は國籍に依り分てば、本島人最も多く83人即ち92.2%を占め、内地人7人即ち7.8%にして朝鮮人及外國人には失業者なし。次に各人口1,000人に對する割合を求むれば、内地人の1.8人は稍々高率にして、本島人は1.5人あり本應平均と同率なり。

失業者90人の年齢を検するに、20—29歳級最も多く35.6%あり、次で30—39歳級の22.2%、19歳以下の18.9%、40—49歳級の13.3%、50—59歳級の6.7%、60歳以上の3.3%とす。更に之を有業者の同年齡級に對比せしむれば、19歳以下の有業者1,000人に對する同年齡級の失業者は2.4人に當り、20—29歳級に於ては3.6人に上昇して爾後は年齢級を上るに従つて低下し、30—39歳級に於ては3.5人となり、40—49歳級に於ては2.2人となり、50—59歳級に於ては1.6人となり、60歳以上に於ては1.5人となれり。

失業者を失業當時の職業に依り大分類すれば、其の他の有業者61人は其の數最も多く、失業者總數の67.7%あり、次は工業17人即ち18.9%にして、以下交通業及公務自由業各5.6%、商業及家事使用人各1.1%の順序なり。斯の如く其の他の有業者に失業者多きは、日傭労働者の失業54人(60.0%)といふが如く特に多數あるを以てなり。

職業(大分類)に依り分ちたる失業者

職 業	總數	男	女	女百に 付男	職業別百分比例		
					總數	男	女
總 數	90	71	19	373.7	100.0	100.0	100.0
1 農 業
2 水 産 業
3 鑛 業
4 工 業	17	17	18.9	24.0	...
5 商 業	1	1	1.1	1.4	...
6 交 通 業	5	5	5.6	7.0	...
7 公務、自由業	5	5	5.6	7.0	...
8 家事使用人	1	1	1.1	1.4	...
9 其の他の有業者	61	42	19	221.1	67.7	59.2	100.0

次に本籍、民籍又は國籍別に之を見れば、内地人の失業者7人は其の他の有業者3人、公務自由業2人、工業及商業各1人とす。本島人の失業者83人中、其の他の有業者58人は其の數最も多く、工業16人、交通業5人、公務自由業3人、家事使用人1人とす。而して更に各本業者1,000人に對する失業率を求むれば、其の他の有業者の125.8人は各業中の首位にあり、以下工業13.0人、交通業5.5人、家事使用人5.1人等は孰れも總數の2.8人に比し高率なるも、公務

自由業2.0人、商業0.7人は孰れも低率なり。然るに今回の調査に於ける失業者は、給料生活者又は勞働者に就てのみ調査したるを以て、更に局限して本業ある者のうち産業上使用人の地位にある者22,377人に對する割合を見れば、1,000人に付4.0人に當る。各職業別に之を觀れば、其の他の有業者の126.3人は總數の場合に比し著しく高率にして、工業の19.3人、交通業の6.3人、家事使用人の5.1人等も亦其の割合多く、公務自由業(2.1人)及商業(1.4人)は孰れも低率なり。

出生地

總人口60,124人を出生地に依り分てば、本島内に於て出生したる者56,656人は其の數最も多く總人口の九割四分三厘を占む。蓋し本島人は殆ど全く本島に於て生れたる者なり。加之内地人及外國人等にして、島内に於て生れたる者も亦尠なからざるに依り、本島出生者の數斯の如く多數を算するものとす。本島出生の者を更に自州廳(澎湖廳)出生と他州廳出生とに區別すれば、其の大部分は前者にして、後者は總人口の一分二厘に過ぎず。本島出生に次ぐは内地出生なるも、其の數遙かに少なく、3,381人即ち五分六厘にして、次は外國出生の73人即ち一厘とし、以下朝鮮出生7人、關東州出生6人、樺太出生1人とす。

出生地に依り分ちたる人口

出生地	總數	男	女	女百に付男	出生地別百分比例			
					總數	男	女	
總數	60,124	28,777	31,347	91.8	100.0	100.0	100.0	
島内出生	總數	56,656	26,299	30,357	86.6	94.3	91.4	96.8
	自州廳出生	55,954	25,980	29,974	86.7	93.1	90.3	95.6
	他州廳出生	702	319	383	83.3	1.2	1.1	1.2
其の他出生	總數	3,468	2,478	990	250.3	5.7	8.6	3.2
	内地出生	3,381	2,413	968	249.3	5.6	8.4	3.1
	朝鮮出生	7	2	5	40.0	0.0	0.0	0.0
	樺太出生	1	1	0.0	0.0	...
	關東州出生	6	4	2	200.0	0.0	0.0	0.0
	外國出生	73	58	15	386.7	0.1	0.2	0.1

更に之を本籍、民籍又は國籍別に觀察するに、内地人に在りては、其の八割四分六厘即ち3,381人は内地出生にして、本島出生一割五分あり、他は朝鮮出生及關東州出生各6人、樺太出生及外國出生各1人とす。朝鮮人1人は朝鮮出生なり。本島人に在りては、外國出生24人を除けば他は悉く本島出生なり。外國人に在りては、其の八割二分八厘即ち48人は外國出生にして、本島出生10人あり。

不具者

不具者は聾啞、盲、白痴、癡癩の四種に限り之を調査せり。但し聾啞には聾のみの者又は啞のみの者を含み、盲は兩眼とも盲したる者に限り、又白痴及癡癩は世人の一般に之を認め得る程度とす。

澎湖廳に於ける不具者は總數842人あり、中男337人にして總數の40.0%あり、女は505人即ち60.0%なり。而して各人口1,000人に對する不具者の割合は、總數14.0人にして男は11.7人、女は16.1人なり。

不具者總數842人を不具の種類に依り分てば、最多は盲の646人にして總數の76.7%を占め、之に次ぐは聾啞の104人即ち12.3%にして、以下白痴47人(5.6%)、癡癩35人(4.2%)、二種以上の不具を兼ねる者10人(1.2%)あり。

不具の種類に依り分ちたる不具者

不具の種類	總數	男	女	女百に付男	不具の種類別百分比例			
					總數	男	女	
總數	842	337	505	66.7	100.0	100.0	100.0	
一種の者	聾啞	104	53	51	103.9	12.3	15.7	10.1
	盲	646	229	417	54.9	76.7	68.0	82.5
	白痴	47	30	17	176.5	5.6	8.9	3.4
	癡癩	35	20	15	133.3	4.2	5.9	3.0
二種以上の不具を兼ねる者	10	5	5	100.0	1.2	1.5	1.0	

不具者を支廳別に見れば、馬公支廳に於ける731人は總數の86.8%を占め、望安支廳に於ては111人即ち13.2%あり。之を各人口の多寡に對比せしむれば、人口1,000人に對し馬公支廳に在りては15.0人、望安支廳に在りては11.0人に當る。

支應に依り分ちたる不具者

支應	總數	一種の者					二種以上の不具を兼ねる者	各人口千に付				
		聾啞	盲	白痴	瘋癲	總數		一種の者				二種以上の不具を兼ねる者
								聾啞	盲	白痴	瘋癲	
總數	842	104	646	47	35	10	14.0	1.7	10.7	0.8	0.6	0.2
馬公支應	731	91	562	37	31	10	15.0	1.9	11.5	0.8	0.6	0.2
望安支應	111	13	84	10	4	...	11.0	1.3	8.3	1.0	0.4	...
水面

不具者を本籍、民籍又は國籍に依り區別すれば、本島人839人は總數の九割九分六厘を占め、他は内地人に3人あるのみにして朝鮮人及外國人には不具者なし。次に各人口1,000人に對する割合を見るに、本島人の15.0人は總數の14.0人に比し稍々高率なるも、内地人の0.8人は著しく低率なり。因に内地人に在りては聾啞、盲、白痴各1人にして、本島人に在りては盲646人最も多く76.9%を占め、聾啞103人即ち12.3%之に次ぎ、白痴46人、瘋癲35人、二種以上の不具を兼ねる者10人あり。

不具者の年齢を検するに、70歳以上の者最も多く不具者總數の三割九厘を占め、次は60-69歳の二割二厘にして、以下50-59歳の一割六分五厘、40-49歳の一割八厘、30-39歳の七分五厘、20-29歳の七分三厘、10-19歳の五分三厘、9歳以下の五分五厘の如く年齢級を上るに従つて漸次其の數増加せり。而して二種以上の不具を兼ねる者は姑く之を措き、不具の種類別に之を見れば、聾啞は0-9歳以下に在る者の割合最も少なく、總數の五分八厘に當り、他は50-59歳の六分七厘乃至70歳以上の七割八分三厘の間にある。盲は50-59歳以上に在る者の割合多く、總數の七割八分八厘あり。白痴は30-39歳に在る者の割合最も多く二割九分八厘あり、20-29歳に在る者の二割三分四厘之に次ぎ、他は40-49歳の一割七分乃至50-59歳の六分四厘の間にある、9歳以下の者と70歳以上の者全くなし。瘋癲は20-29歳に在る者の割合最も多く三割一分四厘あり、30-39歳に在る者の二割之に次ぎ、他は40-49歳の一割七分二厘乃至70歳以上の五分七厘の間にある。

年齢(八區分)に依り分ちたる不具者

年齢	總數	一種の者					二種以上の不具を兼ねる者	年齢級別百分比例				
		聾啞	盲	白痴	瘋癲	總數		一種の者				二種以上の不具を兼ねる者
								聾啞	盲	白痴	瘋癲	
總數	842	104	646	47	35	10	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0-9	13	6	7	1.5	5.8	1.1
10-19	45	17	19	6	3	...	5.3	16.3	2.9	12.8	8.6	...
20-29	61	16	21	11	11	2	7.3	15.4	3.3	23.4	31.4	20.0
30-39	63	10	32	14	7	...	7.5	9.6	4.9	29.8	20.0	...
40-49	91	18	58	8	6	1	10.8	17.3	9.0	17.0	17.2	10.0
50-59	139	7	126	3	2	1	16.5	6.7	19.5	6.4	5.7	10.0
60-69	170	11	148	5	4	2	20.2	10.6	22.9	10.6	11.4	20.0
70以上	260	19	235	...	2	4	30.9	18.3	36.4	...	5.7	40.0

不具者の配偶状態を見るに、最多は死別の43.7%にして、有配偶35.4%、未婚19.4%相次ぎ、離別1.5%は其の數最も少なし。不具の種類別に之を見るも亦離別の割合最も少なし。而して聾啞と白痴は未婚の割合最も多く有配偶、死別相次ぎ、盲と二種以上の不具を兼ねる者は死別の割合最も多く有配偶、未婚相次ぐ。瘋癲に在りては有配偶の割合最も多く未婚、死別相次ぐ。

配偶關係に依り分ちたる不具者

不具の種類	總數	未婚	有配偶	死別	離別	配偶關係別百分比例					
						總數	未婚	有配偶	死別	離別	
總數	842	163	298	368	13	100.0	19.4	35.4	43.7	1.5	
一種の者	聾啞	104	47	38	19	...	100.0	45.2	36.5	18.3	...
	盲	646	70	231	335	10	100.0	10.8	35.8	51.9	1.5
	白痴	47	31	11	4	1	100.0	66.0	23.4	8.5	2.1
	瘋癲	35	13	15	5	2	100.0	37.1	42.9	14.3	5.7
二種以上の不具を兼ねる者	10	2	3	5	...	100.0	20.0	30.0	50.0	...	

不具者842人を職業の有無に依り分てば、其の大部分は無業者にして689人即ち81.8%あり、有業者は153人即ち18.2%なり。男女別に之を見れば男に在りては、總數の場合に比し無業者の割合稍々少なく68.8%にして、有業者

は31.2%を示すも、女に在りては無業者の割合多く90.5%あり、有業者は僅かに9.5%とす。次に不具の種類別に其の有業率を比較するに、聾啞に於ける其の58.7%は有業者の割合最も多く、次で白痴に於ける其の21.3%、二種以上の不具を兼ねる者に於ける其の20.0%、瘋癲に於ける其の17.1%、盲に於ける其の11.5%の順序なり。而して有業者153人を職業大分類に依り分てば、農業110人は其の大部分を占め、商業11人、公務自由業10人、水産業9人、工業6人、家事使用人4人、其の他の有業者2人、交通業1人にして無業者の者なし。

不具數 以上述べたるが如く不具者は總數842人にして、うち二種以上の不具を兼ねる者10人あり。而して此の二種以上の不具を兼ねる者は、總て二種の不具を兼ねる者なり。今之を其の種類別に細別すれば、聾啞と盲の二種を兼ねる者6人、聾啞と白痴の二種を兼ねる者2人、盲と白痴の二種を兼ねる者及盲と瘋癲の二種を兼ねる者各1人なるを以て、之に一種の不具を合算して不具の延數を求むれば聾啞112、盲654、白痴50、瘋癲36にして總數852なり。

内地人の本籍

内地人3,994人を其の本籍地に依り分てば、鹿児島縣最も多く595人あり、熊本縣の501人を第二位とし、第三位は長崎縣の437人にして、次で佐賀縣の304人、福岡縣の272人、大分縣の193人、宮崎縣の183人、廣島縣の128人、愛媛縣の116人等にして、香川、宮城、沖繩、東京、山口、兵庫、福島、新潟、茨城、長野の一府九縣は84人乃至52人、千葉、神奈川、高知、山形、徳島、静岡、愛知、北海道、岡山、岩手、埼玉、島根、栃木、大阪、三重の一府一道十三縣は47人乃至20人、青森、秋田、群馬、岐阜、福井、山梨、和歌山、京都、石川、富山、滋賀、奈良の一府十一縣は18人乃至8人にして鳥取縣全くなし。

内地人の在臺年數

在臺年數は内地人にして、本島に寄留する者に就き其の始めて本島に住居を定めたる年、又は本島に於て出生したる年より起算し、昭和五年十月一日に至る間を曆年に依り、一年未滿は之を一年として計算したり。但し一年以上引續き本島を離れたる者に就ては其の期間を控除せり。

而して内地人總數3,994人中、常住地が本島外に在る一時現在者14人を除

外せる3,980人の在臺年數を検するに、36年の者より初めて10人あるは、恰も改隸の年たる明治二十八年頃より在留する者なるを以てなり。而してそれより明治三十七年に至る十箇年間即ち在臺年數36年乃至27年の者は平均11人あり、次の十箇年間即ち在臺年數26年(明治三十八年)乃至17年(大正三年)の者は平均26人に増加し、次の十箇年間即ち在臺年數16年(大正四年)乃至7年(大正十三年)の者は更に増加して平均60人あり、次は最近六箇年間即ち在臺年數6年(大正十四年)乃至1年(昭和五年)の者は平均502人の如し。而して各年別に之を見るに概ね在臺年數の久しきに従つて其の數を減じ、又反對に在臺年數の短きに従つて其の數漸増の傾向を見るは蓋し當然の現象といふべく、在臺年數2年(昭和四年)以下に於て既に總數の半に近く、就中在臺年數1年(昭和五年)の者は十月以降の三箇月を含まざるにも拘らず675人即ち總數の一割七分あり、第二位を占む。因に本廳に於ける内地人中、陸海軍現役軍人の數は他の州廳に於けるそれに比し其の割合甚だ多きがため、在臺年數3年以下の者著しく多數あり。

在臺年數に依り分ちたる内地人

在臺年數	總數	男	女	女百に 付男	在臺年數別百分比例		
					總數	男	女
總數	3980	2725	1255	217.1	100.0	100.0	100.0
1年	675	491	184	266.8	16.9	18.1	14.7
2年	1295	1052	243	432.9	32.5	38.7	19.4
3年	546	386	160	241.3	13.7	14.2	12.7
4年	214	114	100	114.0	5.4	4.2	8.0
5年	156	91	65	140.0	3.9	3.3	5.2
6年	128	72	56	128.6	3.2	2.7	4.5
7年	96	57	39	146.2	2.4	2.1	3.1
8年	87	53	34	155.9	2.2	2.0	2.7
9年	85	50	35	142.9	2.1	1.8	2.8
10年	57	32	25	128.0	1.4	1.2	2.0
11年	61	31	30	103.3	1.5	1.1	2.4
12年	57	27	30	90.0	1.4	1.0	2.4
13年	47	20	27	74.1	1.2	0.7	2.1
14年	42	18	24	75.0	1.0	0.7	1.9
15年	36	20	16	125.0	0.9	0.7	1.3
16年	33	19	14	135.7	0.8	0.7	1.1
17年	40	15	25	60.0	1.0	0.6	2.0
18年	26	14	12	116.7	0.7	0.5	0.9
19年	32	20	12	166.7	0.8	0.7	0.9
20年	31	12	19	63.2	0.8	0.4	1.5
21年	32	17	15	113.3	0.8	0.6	1.2
22年	21	12	9	133.3	0.5	0.4	0.7
23年	19	12	7	171.4	0.5	0.4	0.6
24年	16	9	7	128.6	0.4	0.3	0.6
25年	30	11	19	57.9	0.8	0.4	1.5
26年	10	3	7	42.9	0.3	0.1	0.6
27年	9	7	2	350.0	0.2	0.3	0.2
28年	14	8	6	133.3	0.4	0.3	0.5
29年	11	6	5	120.0	0.3	0.2	0.4
30年	13	5	8	62.5	0.3	0.2	0.6
31年	12	9	3	300.0	0.3	0.3	0.2
32年	11	5	6	83.3	0.3	0.2	0.5
33年	7	3	4	75.0	0.2	0.1	0.3
34年	6	3	3	100.0	0.2	0.1	0.2
35年	15	12	3	400.0	0.4	0.4	0.2
36年	10	9	1	900.0	0.3	0.3	0.1

本島人の纏足者

本島人の纏足者は總數8,742人あり、本島人女總人口の二割九分一厘に當

る。之を大正九年國勢調査の際に於ける同割合三割六分三厘に較ぶれば、七分二厘の減少を示せり。然るに本島人の女と雖も纏足の風習あるは、主にも福建人系統の者なるを以て、更に局限して福建人系統の女1,000人に對する割合を求むれば290.8人に當り、大正九年國勢調査に於ける同割合363.0人に比較すれば、割合に於て72.2人の減少を見る。因に大正九年國勢調査に於ける澎湖廳の纏足者は10,494人なり。

纏足者總數8,742人を支應別に見れば、馬公支應に在りては6,858人即ち纏足者總數の七割八分五厘に當り、望安支應に在りては1,882人即ち二割一分五厘とし、水面に2人あり。次に之を各人口の多寡に對比せしむれば、即ち本島人の女1,000人に對する割合は望安支應に於ける349.0人、馬公支應に於ける278.0人、水面に於ける222.2人の如くにして、更に局限して福建人の女に對する同割合を求むるも、依然望安支應に於ける349.3人首位にあり、馬公支應及水面に於ける割合は孰れも本島人女總數に對する場合と同率とす。

支應に依り分ちたる纏足者

支應	纏足者	割合	本島人女 千に付	福建人女 千に付
總數	8742	100.0	290.7	290.8
馬公支應	6858	78.5	278.0	278.0
望安支應	1882	21.5	349.0	349.3
水面	2	0.0	222.2	222.2

次に纏足者の年齢を検するに、19歳以下の者は全くなく、20—29歳の者に於て僅かに50人あり、30—39歳の者に於ては一躍1,772人に激増し纏足者總數の20.3%あり、爾餘は毎級漸増して50—59歳の者に於ける2,184人(25.0%)を以て各年齢級に於ける最高位とし、60—69歳の者は少しく低下して1,485人(17.0%)となり、70歳以上の者は更に1,139人(13.0%)に減少せり。而して之を同年齢級に在る本島人女の數に對比せしむれば、70歳以上最高率にして1,000人に付960.4人を示し、60—69歳級の942.9人第二位にあり、第三位は50—59歳級の847.5人とし、以下40—49歳級の661.4人、30—39歳級の524.0人、20—29歳級の11.4人の如く年齢級を下る毎に其の割合は漸次減少せり。

纏足者8,742人を職業大分類に依り分てば、其の三割五分は無業者にして、

農業 5,453 人は纏足者總數の六割二分に當り、次で商業の 75 人、水産業 45 人、工業 28 人、家事使用人 24 人、其の他の有業者 16 人、公務自由業 4 人とす。而して之が各職業別人口に對する割合より見るも亦農業に於ける纏足者の割合最も多く、本島人女にして農業に従事する者 1,000 人に付 357.1 人に當り、工業に於ける 350.0 人、商業に於ける 319.1 人、水産業に於ける 279.5 人、其の他の有業者に於ける 166.7 人、家事使用人に於ける 165.5 人の如く相次ぎ、公務自由業に於ける 100.0 人は其の割合最も少なし。

本島人の國語普及の程度

今回の調査に於ては、本島人の間に於ける國語普及の程度を國語を解し且読み書き得る者、國語を解し且読み得る者、國語を解するのみの者、國語を解せず読み書き得る者、國語を解せず読み得る者に區別して調査せり。然るに以上五者のうち其の數最も多きは、國語を解し且読み書き得る者の 2,909 人にして總數の四割六分を占め、國語を解せず読み書き得る者 1,401 人、國語を解するのみの者 923 人、國語を解せず読み得る者 792 人の如く相次ぎ、國語を解し且読み得る者 263 人最も少なし。而して總數 6,288 人を男女に分てば、男は 5,467 人即ち 86.9% にして、女は 821 人即ち 13.1% に當り、又女 100 人に對する男は 665.9 人に當る。

國語普及の本島人

國語普及の程度	總數	男	女	女百に付男	國語普及の程度別百分比例		
					總數	男	女
總數	6,288	5,467	821	665.9	100.0	100.0	100.0
國語を解し且読み書き得る者	2,909	2,620	289	906.6	46.2	48.0	35.2
國語を解し且読み得る者	263	225	38	592.1	4.2	4.1	4.6
國語を解するのみの者	923	717	206	348.1	14.7	13.1	25.1
國語を解せず読み書き得る者	1,401	1,231	170	724.1	22.3	22.5	20.7
國語を解せず読み得る者	792	674	118	571.2	12.6	12.3	14.4

次に國語普及の本島人 6,288 人の人口に對する割合を求むれば即ち本島人の人口 1,000 人に付男は 210.3 人、女は 27.3 人にして、總數 112.1 人なり。支應別に之を見れば、馬公支應に於ける 128.1 人及水面に於ける 125.9 人は總數の場合に比し高率なるも、望安支應に於ける 39.6 人は甚だ低率なり。

支應に依り分ちたる國語普及の本島人

支應	總數	男	女	女百に付男	各人口子に付		
					總數	男	女
總數	6,288	5,467	821	665.9	112.1	210.3	27.3
馬公支應	5,871	5,062	809	625.7	128.1	239.2	32.8
望安支應	400	388	12	3,233.3	39.6	82.3	2.2
水面	17	17	125.9	134.9	...

國語普及の本島人 6,288 人の年齢を検するに、9 歳以下の者二割二分一厘あり、10—19 歳の者は一躍四割七分二厘に激増して最高率を示せるも、20—29 歳の者に至れば急減して一割七分九厘となり、以下 30—39 歳の者七分二厘、40—49 歳の者四分二厘、50—59 歳の者一分二厘の如く遞減して 60 歳以上の者は僅かに二厘(14 人)とす。而して更に之を各年齢級に在る本島人數に對比せしむれば、依然 10—19 歳級高率にして、同年齢級の人口 1,000 人に付 263.4 人に當り、次で 20—29 歳級の 145.8 人、9 歳以下の 84.3 人、30—39 歳級の 77.8 人、40—49 歳級の 45.9 人、50—59 歳級の 17.1 人、60 歳以上の 3.1 人の順序なり。

國語普及の本島人 6,288 人の職業を検するに、其の 53.2% 即ち 3,348 人は無業者にして、有業者は 2,940 人即ち 46.8% なり。而して有業者中 1,052 人は農業にして總數の 16.7% あり、工業の 564 人(9.0%)之に次ぐ。以下商業(7.2%)、公務自由業(4.4%)、交通業(3.0%)、其の他の有業者(2.9%)、水産業(2.0%)、家事使用人(1.6%)の順序にして、鑛業(0.0%)は其の數最も少なし。之を男女各別に觀察するに、總數の場合に比し男に在りては無業の 50.7%、家事使用人の 0.5% は低率なるも、農業 17.3% 以下の各業は孰れも高率(因に鑛業は總數と同率)なり。女に在りては無業の 69.9%、家事使用人の 9.1% は高率なるも、農業の 13.1% 以下の各業は孰れも低率(因に水産業、鑛業に於ける女は全くなし)なり。

今回の調査に依る國語普及の本島人を大正九年國勢調査に於けるものと比較せんとするに、大正九年の調査に於ては國語を解する者、読み書き得る者、読み得る者の三者に區別して調査したる關係上、一人にて國語を解し且読み書き得る者は、國語を解する者としても、読み書き得る者としても之を計上し、又一人にて國語を解し且読み得る者も此の方法に依り、國語を解する者及読み得る者の兩者に之を計上したるを以て、一人にて何れかの二者可能なる者は、上述の如く重複して計算せられたる譯なり。然るに今回

の調査に於ては前記の五者に區別して調査したるを以て、大正九年と比較するため今茲に、國語を解し且読み書き得る者2,909人と國語を解し且読み得る者263人、及國語を解するのみの者923人とを合算したる4,095人を大正九年國勢調査の國語を解する者2,185人に較ぶれば實に1,910人の増加にして、又國語を解し且読み書き得る者2,909人と國語を解せず読み書き得る者1,401人とを合算したる4,310人を大正九年國勢調査の読み書き得る者1,918人に較ぶれば2,392人の増加にして、又國語を解し且読み得る者263人と國語を解せず読み得る者792人とを合算したる1,055人を大正九年國勢調査の読み得る者276人に較ぶれば779人の増加なり。而して今回の調査に依る以上の總數は9,460人にして、大正九年國勢調査に於ける總數は4,379人なるを以て、此の十年間に2.2倍の増加を示せり。是れ一面には人口の自然増加に伴ふ結果にも因るが然らば之れが各人口に對する比率如何といふに、本島人の人口1,000人に對する割合は大正九年の調査に於ては81.0人に當り、今回の調査に於けるものは168.7人なるを以て、人口に對する割合に於ても亦2.1倍の増率を示せり。之を以て見るも近時本島人間に於ける文化の趨向を察知するを得べし。

本島人の間に於ける國語普及數

	總數	男	女	女百に 付男	各人口千に付		
					總數	男	女
昭和五年							
總數	9460	8312	1148	724.0	168.7	319.7	38.2
國語を解する者	4095	3562	533	668.3	73.0	137.0	17.7
読み書き得る者	4310	3851	459	839.0	76.9	148.1	15.3
読み得る者	1055	899	156	576.3	18.8	34.6	5.2
大正九年							
總數	4379	4039	340	1187.9	81.0	160.4	11.8
國語を解する者	2185	1997	188	1062.2	40.4	79.3	6.5
読み書き得る者	1918	1792	126	1422.2	35.5	71.2	4.4
読み得る者	276	250	26	961.5	5.1	9.9	0.9

註 本表は國語普及の延數なり。

統計表

1 町、大字、社別住

大字	住居	世帯	人					
			總數			內地人		
			總數	男	女	總數	男	女
白 涉 庄	1 646	1 646	8 860	3 779	5 081	41	23	18
中城港瓦後	99	99	606	254	352
屯前尾	31	31	173	66	107
...	143	143	781	305	476	2	1	1
...	93	93	479	215	264	1	1	...
...	260	260	1 255	525	730
通大岐鎮港	198	198	1 043	436	607	7	4	3
...	23	23	168	76	92
...	86	86	499	208	291
...	51	51	291	103	188
...	118	118	560	217	343	1	...	1
小吉大島	53	53	271	120	151
赤 赤	226	226	1 253	603	650	14	9	5
...	198	198	1 085	469	616	16	8	8
...	67	67	396	182	214
西 嶼 庄	1 572	1 572	7 956	3 395	4 561	50	29	21
小大二竹嶺	365	365	1 718	676	1 042	20	12	8
...	135	135	673	243	430
...	50	50	196	65	131
...	223	223	1 304	556	748	7	3	4
...	44	44	205	70	135
合群內外	99	99	521	220	301
...	185	185	904	396	508
...	258	258	1 297	636	661	11	7	4
...	213	213	1 138	533	605	12	7	5
望 安 支 廳	1 845	1 845	10 140	4 735	5 405	34	21	13
望 安 庄	1 845	1 845	10 140	4 735	5 405	34	21	13
將西嶼東望	190	190	1 072	482	590	1	1	...
...	61	61	299	158	141
...	69	69	398	205	193
...	168	168	865	418	447	2	1	1
...	274	274	1 349	598	751	25	15	10
大花水花	598	598	3 547	1 654	1 893	5	3	2
...	189	189	1 014	483	531
...	207	207	1 111	502	609	1	1	...
...	89	89	485	235	250
水 面	3	27	1 057	1 047	10	920	919	1

居、世帯及人口 (終)

朝鮮人	口						人口ノ増減 (△ハ減)				
	女	本島人			外國人			自大正十四年昭和五年		自大正九年至大正十四年	
		總數	男	女	總數	男	女	實數	割合	實數	割合
...	8 818	3 756	5 062	1	...	1	△ 391	△ 42.3	121	13.3	
...	605	254	351	1	...	1	8	13.4	9	15.3	
...	173	60	107	△ 11	△ 59.8	3	16.0	
...	779	304	475	35	46.9	△ 10	△ 13.2	
...	478	214	264	△ 72	△ 130.7	7	△ 12.5	
...	1 255	525	730	△ 144	△ 102.9	△ 17	△ 12.0	
...	1 036	432	604	△ 3	△ 2.9	△ 0	△ 8.5	
...	168	76	92	33	244.4	4	30.5	
...	499	208	291	49	108.9	△ 8	△ 17.5	
...	291	103	188	△ 40	△ 120.8	△ 8	△ 23.6	
...	559	217	342	△ 12	△ 21.0	△ 25	△ 41.9	
...	271	120	151	△ 25	△ 84.5	2	6.8	
...	1 239	594	645	△ 197	△ 135.9	151	116.2	
...	1 009	461	608	△ 54	△ 47.4	8	7.1	
...	396	182	214	42	118.6	28	85.9	
...	7 904	3 364	4 540	2	2	...	228	29.5	58	7.6	
...	1 697	663	1 034	1	1	...	47	28.1	4	2.4	
...	673	243	430	9	13.6	△ 12	△ 17.8	
...	196	65	131	△ 21	△ 96.8	7	33.3	
...	1 297	553	744	△ 39	△ 29.0	△ 15	△ 11.0	
...	205	70	135	7	35.4	△ 36	△ 153.8	
...	521	220	301	△ 45	△ 79.5	△ 17	△ 29.2	
...	904	396	508	50	58.5	21	25.2	
...	1 285	628	657	1	1	...	138	119.1	60	54.6	
...	1 126	526	600	82	77.7	54	53.9	
...	10 106	4 714	5 392	516	53.6	△ 23	△ 2.4	
...	10 106	4 714	5 392	516	53.6	△ 23	△ 2.4	
...	1 071	481	590	129	136.8	50	56.0	
...	299	158	141	△ 20	△ 62.7	2	6.3	
...	398	205	193	39	108.6	
...	863	417	446	32	38.4	77	101.9	
...	1 324	583	741	△ 33	△ 23.9	△ 12	△ 8.6	
...	3 542	1 651	1 891	324	100.5	△ 6	△ 1.9	
...	1 014	483	531	11	11.0	14	14.2	
...	1 110	501	609	△ 34	△ 29.7	△ 115	△ 91.3	
...	485	235	250	68	163.1	△ 33	△ 73.3	
...	135	126	9	2	2	

2 世帯主ノ本籍、民籍、國籍及産

世帯主ノ本籍、民籍、 國籍及權利關係		總 數	I 農 業	II 水 産 業	III 鑛 業	IV 工 業	V 商 業	VI 交 通 業	VII 公 務、 自 由 業	VIII 家 事
總 數	總 數	10 605	5 420	1 248	4	602	706	387	731	45
	持地持家	8 948	5 246	1 195	4	382	336	353	220	20
	持地借家	11	1	1	...	1	4	...	1	...
	借地持家	91	11	3	...	18	39	3	5	2
	借地借家	1 555	162	49	...	201	327	31	505	23
内地人	總 數	670	...	2	...	89	78	2	345	...
	持地持家	14	2	8	...	4	...
	持地借家
	借地持家	23	8	9	1	4	...
	借地借家	633	...	2	...	79	61	1	337	...
本島人	總 數	9 918	5 420	1 246	4	510	617	384	385	45
	持地持家	8 933	5 246	1 195	4	380	328	352	216	20
	持地借家	11	1	1	...	1	4	...	1	...
	借地持家	68	11	3	...	10	30	2	1	2
	借地借家	906	162	47	...	119	255	30	167	23
外國人	總 數	17	3	11	1	1	...
	持地持家	1	1
	持地借家
	借地持家
	借地借家	16	3	11	...	1	...

業(大分類)別住居ノ權利關係

IX 其 他 産 業	X 無 業	權利關係別百分比例										
		總 數	I 農 業	II 水 産 業	III 鑛 業	IV 工 業	V 商 業	VI 交 通 業	VII 公 自 由 業	VIII 家 事	IX 其 他 産 業	X 無 業
186	1 276	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
174	1 018	84.4	96.8	95.8	100.0	63.4	47.6	91.2	30.1	44.5	93.5	79.8
1	2	0.1	0.0	0.1	...	0.2	0.6	...	0.1	...	0.5	0.2
1	9	0.8	0.2	0.2	...	3.0	5.5	0.8	0.7	4.4	0.5	0.7
10	247	14.7	3.0	3.9	...	33.4	46.3	8.0	69.1	51.1	5.5	19.3
2	152	100.0	...	100.0	...	100.0	100.0	100.0	100.0	...	100.0	100.0
...	...	2.1	2.2	10.3	...	1.2
...
...	1	3.4	9.0	11.5	50.0	1.2	0.7
2	151	94.5	...	100.0	...	88.8	78.2	50.0	97.6	...	100.0	99.3
184	1 123	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
174	1 018	90.1	96.8	95.9	100.0	74.5	53.2	91.7	56.0	44.5	94.6	90.6
1	2	0.1	0.0	0.1	...	0.2	0.6	...	0.3	...	0.5	0.2
1	8	0.7	0.2	0.2	...	2.0	4.9	0.5	0.3	4.4	0.5	0.7
8	95	9.1	3.0	3.8	...	23.3	41.3	7.8	43.4	51.1	4.4	8.5
...	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
...	...	5.9	100.0
...
...
...	1	94.1	100.0	100.0	...	100.0	100.0

5 世帯主ノ本籍、民籍、國籍並産

世帯主ノ本籍、民籍、 國籍及所屬ノ産業	世帯	人口總數			世帯主		
		總數	男	女	男	女	
							總數
總數	10 608	58 213	26 916	31 297	7 674	2 263	
内地人	670	2 253	1 019	1 234	476	169	
本島人	9 921	55 903	25 854	30 049	7 183	2 093	
外國人	17	57	43	14	15	1	
I 農							
1 農	業 {本島人	5 420	31 402	14 280	17 122	3 732	1 472
2 畜産	業 {本島人	5 408	31 352	14 254	17 098	3 724	1 468
3 蠶業	業 {本島人	12	50	26	24	8	4
4 其ノ他ノ農	業 {本島人
5 林業	業 {本島人
II 水産							
6 漁業	業 {本島人	1 249	7 523	3 626	3 897	1 188	6
	内地人	2	5	5	...	2	...
	本島人	1 247	7 518	3 621	3 897	1 186	6
III 鑛業							
7 探鑛業	業 {本島人	4	14	8	6	4	...
8 土石採取業	業 {本島人	4	14	8	6	4	...
IV 工業							
9 窯業、土石加工業	業 {本島人	602	3 472	1 751	1 721	517	10
	内地人	89	365	193	172	87	1
	本島人	510	3 091	1 543	1 548	427	9
	外國人	3	16	15	1	3	...
10 金屬工業	業 {本島人	16	107	53	54	13	...
	内地人	1	7	3	4	1	...
	本島人	14	93	43	50	11	...
	外國人	1	7	7	...	1	...
11 機械器具製造、裝置業	業 {本島人	33	160	85	75	27	...
	内地人	1	3	2	1	1	...
	本島人	32	157	83	74	26	...
12 造船業、運搬用具製造業	業 {本島人	12	46	23	23	9	...
	内地人	1	1	1	...	1	...
	本島人	11	45	22	23	8	...
13 精巧工業	業 {本島人	161	991	516	475	157	...
	内地人	54	217	117	100	54	...
	本島人	107	774	399	375	103	...
14 化學工業	業 {本島人	18	104	53	51	18	...
	内地人	10	54	29	25	9	...
	本島人	9	53	28	25	8	...
15 紡織工業	業 {本島人	15	79	41	38	11	2
	内地人	3	10	4	6	2	1
	本島人	11	64	32	32	8	1
	外國人	1	5	5	...	1	...
16 被服、身製品製造業	業 {本島人	26	129	62	67	16	6
	内地人	25	125	59	66	15	6
	外國人	1	4	3	1	1	...

業(中分類)別普通世帯及人口

世帯主又ハ家族ノ 業務ニ従事スル者	家 族				職業ナキ者		營業使用人		家事使用人		來 客	
	職業アル者		否ラザル者		男	女	男	女	男	女	男	女
	男	女	男	女								
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4 386	12 060	2 452	1 986	11 703	14 124	289	533	10	32	402	299	
16	22	42	42	448	831	20	153	3	8	14	9	
4 368	12 038	2 404	1 943	11 247	13 282	257	379	7	24	388	290	
2	...	6	1	8	11	12	1	
3 043	8 211	1 013	140	6 142	6 867	119	261	...	6	231	165	
3 042	8 209	1 008	138	6 130	6 851	119	261	...	6	231	165	
1	2	5	2	12	16	
561	1 583	290	474	1 525	1 770	7	29	1	4	54	31	
561	1 583	290	474	1 524	1 770	7	29	1	4	52	31	
561	1 583	290	474	1 525	1 770	7	29	1	4	54	31	
561	1 583	290	474	1 524	1 770	7	29	1	4	52	31	
1	3	3	3	
158	434	158	211	869	1 028	37	18	...	2	12	18	
7	4	16	7	80	155	3	3	
149	430	137	204	789	872	29	15	...	2	12	16	
2	...	5	1	5	
10	21	9	5	21	27	1	
9	21	4	5	19	23	
9	19	4	12	40	43	5	1	
...	10	2	3	11	9	1	1	
...	10	2	3	11	9	1	1	
27	81	43	47	284	340	1	3	4	4	
1	...	8	2	54	98	
26	81	35	45	230	242	1	3	4	4	
4	7	3	7	28	35	...	1	1	
...	8	...	4	19	12	...	1	1	...	
...	8	...	4	19	12	...	1	1	...	
5	13	4	2	16	20	5	1	
...	2	1	...	1	3	
4	11	3	2	15	17	2	1	
10	5	3	8	24	48	8	1	...	
10	5	3	8	24	47	6	1	...	
...	1	2	

5 世帯主ノ本籍、民籍、國籍並産

Table with columns: 世帯主ノ本籍、民籍、國籍及所屬ノ産業, 世帯, 人口總數 (Total, Male, Female), 世帯主 (Male, Female). Rows include various industries like paper printing, leather goods, wood products, food processing, etc.

業(中分類)別普通世帯及人口 (續)

Table with columns: 職業アル者 (職業ナキ者), 職業アル者 (世帯主又ハ家族ノ業務ニ従事スル者, 否ラザル者), 職業ナキ者 (男, 女), 營業使用人 (男, 女), 家事使用人 (男, 女), 來客 (男, 女). Rows correspond to industries from page 12.

5 世帯主ノ本籍、民籍、國籍並産

世帯主ノ本籍、民籍、 國籍及所屬ノ産業	世帯	人口總數			世帯主		
		總數	男	女	男	女	
VII 公務、自由業		731	3137	1588	1549	694	8
		345	1095	568	527	321	5
		385	2039	1018	1021	372	3
		1	3	2	1	1	...
33 公務		468	2044	1038	1006	445	...
		282	919	479	440	203	...
		186	1125	559	566	182	...
34 法務	
35 教育		124	467	230	237	120	1
		37	97	50	47	36	1
		87	370	180	190	84	...
36 宗教		60	269	134	135	59	...
		3	7	3	4	3	...
		57	262	131	131	56	...
37 医療		34	121	61	60	27	6
		17	63	31	32	14	3
		17	58	30	28	13	3
38 著述、藝術、遊藝		8	30	15	15	7	1
		2	2	1	1	1	1
		5	25	12	13	5	...
		1	3	2	1	1	...
39 其ノ他ノ自由業		37	206	110	96	36	...
		4	7	4	3	4	...
		33	199	106	93	32	...
VIII 家事		45	154	65	89	21	24
40 家事		45	154	65	89	21	24
IX 其ノ他ノ産業		186	808	289	519	9	7
		2	12	5	7	2	...
		184	796	284	512	7	7
41 其ノ他ノ産業		186	808	289	519	9	7
		2	12	5	7	2	...
		184	796	284	512	7	7
X 無業		1276	5779	2387	3392	585	679
		152	338	91	247	3	149
		1123	5436	2294	3142	582	529
		1	5	2	3	...	1
42 無業		1276	5779	2387	3392	585	679
		152	338	91	247	3	149
		1123	5436	2294	3142	582	529
		1	5	2	3	...	1

業(中分類)別普通世帯及人口 (終)

世帯主又ハ家族ノ 業務ニ従事スル者		家族				職業ナキ者		營業使用人		家事使用人		來客	
		職業アル者		否ラザル者									
		男	女	男	女								
74	228	123	137	678	1150	3	6	2	5	14	15		
...	...	13	28	225	482	5	9	7		
74	228	110	109	452	667	3	6	2	5	14	15		
...	1	1		
37	110	75	66	471	811	2	4	...	4	8	11		
...	...	11	20	198	410	4	7	6		
37	110	64	46	273	401	2	4	1	5		
...		
15	40	7	36	83	156	1	1	1	...	3	3		
...	...	2	6	10	39	2	1		
15	40	5	30	73	117	1	1	1	...	1	2		
...		
14	49	21	15	39	70	1	1		
...		
14	49	21	15	39	66	1	1		
...		
5	4	3	4	25	44	...	1	1	1		
...	2	17	26		
5	4	3	2	8	18	...	1	1		
...		
1	3	...	3	7	8		
...		
1	3	...	3	6	7		
...	1	1		
2	22	17	13	53	61	2	...		
...		
2	22	17	13	53	58	2	...		
...		
1	6	7	14	36	42	...	3		
...		
1	6	7	14	36	42	...	3		
...		
52	126	38	131	182	230	1	10	7	15		
...	1	3	6		
52	126	38	130	179	224	1	10	7	15		
...		
52	126	38	131	182	230	1	10	7	15		
...	1	3	6		
52	126	38	130	179	224	1	10	7	15		
...		
210	698	478	522	1051	1438	13	19	1	4	49	32		
...	...	3	1	85	96	1		
210	698	474	520	965	1341	13	19	1	3	49	32		
...	...	1	1	1	1		
210	698	478	522	1051	1438	13	19	1	4	49	32		
...	...	3	1	85	96		
210	698	474	520	965	1341	13	19	1	3	49	32		
...	...	1	1	1	1		

6 種 族 系 統 別 人 口

種 族 系 統		總 數	馬 公 支 廳	望 安 支 廳	水 面	
總 數	總 數	60 124	48 927	10 140	1 057	
	內 地 人 系	3 995	3 040	35	920	
	朝 鮮 人 系	1	1	
	漢 人 系	福 建	56 058	45 822	10 100	136
		廣 東	14	9	5	...
		其 他 漢 人
	蕃 人 系	熟 蕃
		生 蕃
	外 國 人 系	56	55	...	1	
	男	總 數	28 777	22 995	4 735	1 047
內 地 人 系		2 733	1 793	21	919	
朝 鮮 人 系		
漢 人 系		福 建	25 992	21 153	4 712	127
		廣 東	8	6	2	...
		其 他 漢 人
蕃 人 系		熟 蕃
		生 蕃
外 國 人 系		44	43	...	1	
女		總 數	31 347	25 932	5 405	10
	內 地 人 系	1 262	1 247	14	1	
	朝 鮮 人 系	1	1	
	漢 人 系	福 建	30 060	24 669	5 388	9
		廣 東	6	3	3	...
		其 他 漢 人
	蕃 人 系	熟 蕃
		生 蕃
	外 國 人 系	12	12	

6 種 族 系 統 別 人 口 (終)

種 族 系 統		總 數	馬 公 支 廳	望 安 支 廳	水 面	
總 數	總 數	100.0	100.0	100.0	100.0	
	內 地 人 系	6.7	6.2	0.3	87.0	
	朝 鮮 人 系	0.0	0.0	
	漢 人 系	福 建	93.2	93.7	99.7	12.9
		廣 東	0.0	0.0	0.0	...
		其 他 漢 人
	蕃 人 系	熟 蕃
		生 蕃
	外 國 人 系	0.1	0.1	...	0.1	
	男	總 數	100.0	100.0	100.0	100.0
內 地 人 系		9.5	7.8	0.4	87.8	
朝 鮮 人 系		
漢 人 系		福 建	90.3	92.0	99.6	12.1
		廣 東	0.0	0.0	0.0	...
		其 他 漢 人
蕃 人 系		熟 蕃
		生 蕃
外 國 人 系		0.2	0.2	...	0.1	
女		總 數	100.0	100.0	100.0	100.0
	內 地 人 系	4.0	4.8	0.3	10.0	
	朝 鮮 人 系	0.0	0.0	
	漢 人 系	福 建	96.0	95.2	99.6	90.0
		廣 東	0.0	0.0	0.1	...
		其 他 漢 人
	蕃 人 系	熟 蕃
		生 蕃
	外 國 人 系	0.0	0.0	
	女 百 = 付 男	總 數	91.8	88.7	87.6	10 470.0
內 地 人 系		216.6	143.8	150.0	91 900.0	
朝 鮮 人 系		
漢 人 系		福 建	86.4	85.7	87.5	1 411.1
		廣 東	133.3	200.0	66.7	...
		其 他 漢 人
蕃 人 系		熟 蕃
		生 蕃
外 國 人 系		366.7	358.3	